

公開質問状

変圧器トップランナー制度に関する公開質問

2025年10月1日

経済産業省 資源エネルギー庁 長官 殿

差出人: 株式会社I-S3 代表取締役 益田周防海

住所: 群馬県安中市嶺638番地3

連絡先: 090-9086-1458

メール: s_masuda@i-s3.com

件名

変圧器トップランナー制度の科学的妥当性および環境影響に関する公開質問

趣旨

現在運用されている変圧器トップランナー制度について、以下の点で科学的合理性および環境政策的整合性に重大な疑義が生じています。国民生活・エネルギー安定供給・環境保護に直接影響する制度であるため、速やかに公開での説明を求めます。

質問事項

1. LCA評価について

制度策定時に、製造・輸送・据付・廃棄までを含む**ライフサイクルCO₂評価(LCA)**を実施したか。

- 実施した場合、その報告書・担当部署・要旨を公開されたい。
- 実施していない場合、その理由を明示されたい。

2. 用途別の適用合理性

小容量(例: 50 kVA以下)、太陽光発電用などの低負荷トランスの低負荷用途における適用

の妥当性を検討したか。

- 想定負荷率での回収年数(CO₂・経済性双方)を試算した資料は存在するか。

3. 安全性評価について

トランス重量・体積増加に伴う落下リスクや施工リスク、据え付けスペースの問題などの評価を行ったのか。

- 行った場合、そのデータを提示されたい。
- 行っていない場合、現場安全に対する責任をどう考えるか。

4. 供給安定性について

旧型新品トランスの製造中止によって、社会インフラ保全や更新工事に支障が出る懸念がある。

- 供給保安上の検討は行われたか。行った場合、その資料を示されたい。

5. 制度運用の柔軟性について

上記の合理的根拠が欠如している場合、一時的な適用停止・小容量や低負荷用途の除外規定を設ける意思はあるか。

回答方法について

本質問は公開質問状として発出するものです。つきましては、回答期限を本書到達後14日以内とし、書面にてご回答いただきたく存じます。回答内容は当方にて広く公開いたします。

結語

変圧器トップランナー制度は本来、省エネと環境保護のための施策であるはずですが。しかし、現状は「材料増・重量増による形式的な効率向上」が強要され、施工コスト増・安全リスク増・LCA悪化によるCO₂排出増という逆効果を生じています。

科学的合理性を欠く制度運用は、国民経済と環境政策双方に対して重大な悪影響を与えかねません。よって、誠意ある明確な回答を求めるものです。

敬具